

高等学校【国語】正解・解答例

- 一 問一 ウ  
問二 ① 自発的 ② 成長 ③ 学習指導  
問三 ①  
問四 (二) (ア) 批判 (イ) 創造  
(二) ① ○ ② × ③ ○

配点：各2点×10

20点

- 二 問一 (一) 弛緩 (二) 誇示  
(三) 平衡 (四) こうでい  
(五) はくび  
問二 ① ア ② カ  
A 仮名序 B 六歌仙 C たをやめぶり(たおやめぶり)

配点：各2点×10

20点

- 三 問一 それとは対  
問二 子どもは大人と仕事を共有し、その仕事を受け継いでいたので、大人は仕事の先達として尊敬すべき存在であったから。  
問三 (ア) 教える主体として、客体である生徒に能動的に働きかけるもの  
(イ) 生徒が見習う対象  
問四 先達と後輩の関係  
問五 オ  
問六 ア

配点：問一 5点、問二 16点、問三 (ア) 6点(イ) 4点、問四 5点、  
問五 3点、問六 6点

45点

- 四 問一 a 頭 b 尾  
問二 (ア) もっと生きること并要求すること  
(イ) もう平穏な眠りにつきたがっている  
(ウ) 生きることよりもむしろ安らかな死を願う  
問三 ア、ウ (順不同)  
問四 エ

問五 死に際しての苦痛／過去の累積された記憶

問六 「女性作家」は死というものを、人間が最終的に行き着く「ゴール」のようなものとして捉えているのに対し、「僕」は、「死」というものを、その先にある場所にたどり着くための「通過点」のようなものと捉えている。

配点：問一 3点(完答)、問二 各4点×3、問三 各3点×2、問四 4点、

問五 各3点×2、問六 9点

**40点**

## 五

問一 a (オ) ↓ (イ)      b (オ) ↓ (エ)

問二 C、D (順不同)

問三 む強意 / らむ現在推量

問四 陳氏は徳言と暮らしていた昔とは似るはずもない裕福な境遇であるけれども、

問五 親王と暮らしている間も徳言との約束を忘れずに探し続けていたと伝えるのは、親王に対して後ろめたかったから。

問六 ① 映り    ② 移り    ③ 澄み    ④ 住み    ⑤ 縁語 (①②は順不同)

問七 (ア) この文章では、最後の一文に筆者の考えが述べられている。

(イ) 親王の比類ないほどの思いやりの深さ

配点：問一 各3点×2、問二 4点、問三 各2点×2、問四 6点、問五 10点、

問六 ①②3点(完答)、③④3点(完答)、⑤2点、問七 (ア)3点(イ)4点

**45点**

## 六

問一 (一) 猶ほ水の火に勝つがごとし

(二) ちようど水が火に勝つようなものである。

問二 ②

問三 ア

問四 (一) またつひにかならずばうせんのみ。      (二) オ

問五 自らの仁が貧弱であるという原因で、不仁に勝とうとしてもかなわないのに、仁は不仁に勝てないと一般化している点。

配点：問一 各4点×2、問二 3点、問三 3点、問四 (一)6点、(二)4点、

問五 6点

**30点**